

# 福島第一原子力発電所

## 1号機原子炉建屋カバーの解体について

2014年10月22日

東京電力株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所



東京電力

---



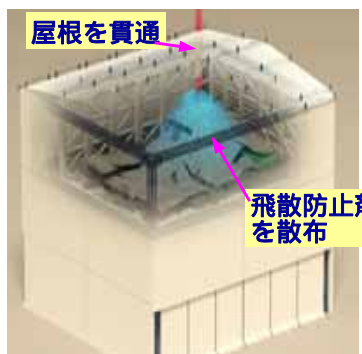
# 1号カバー解体について(2/4)

調査結果に基づき建屋カバー解体時の飛散抑制対策の有効性を確認するとともに、散水設備やガレキ撤去方法等、ガレキ撤去計画の策定を進めます。

## 飛散防止剤の散布と調査のステップ

オペフロ: 建物最上階にある作業フロア

- ・飛散防止剤散布  
屋根貫通: 計48箇所  
屋根の裏面にも散布

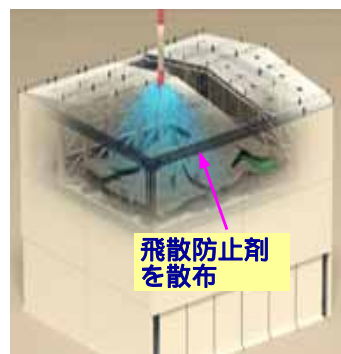


約1週間

- ・屋根パネル1枚目取り外し
- ・カバー内ダストモニタで飛散抑制状況を確認



- ・屋根パネル1枚目取り外し部分から飛散防止剤散布
- ・内部調査も実施



約1週間

- ・屋根パネル2枚目取り外し
- ・飛散防止剤散布

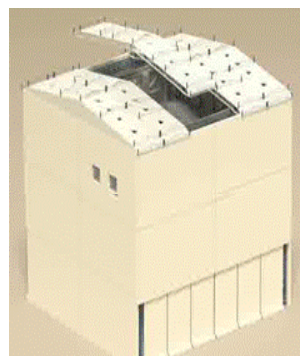


- ・屋根パネル2枚目取り外し後、一定期間ダストの状況を傾向監視
- ・オペフロ調査



約3週間

- ・屋根パネル2枚を戻す

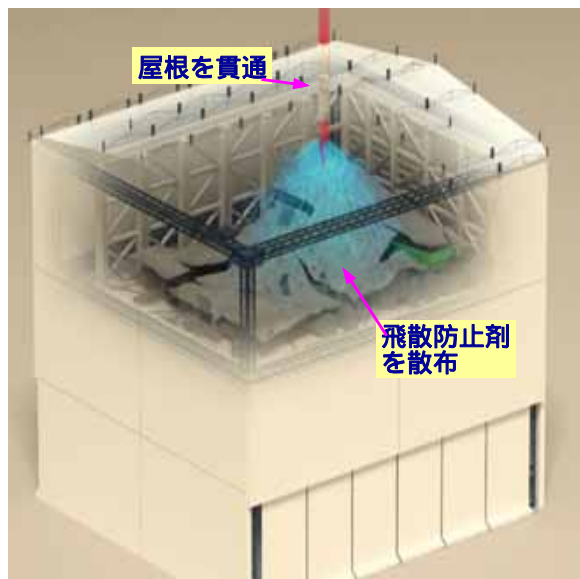


- ・調査結果の分析、評価
- ・ガレキ撤去計画の策定 等

約3ヶ月

# 1号カバー解体について (当日スケジュール)

## 飛散防止剤の散布イメージ



## 作業内容

ノズル先端が槍状の飛散防止剤散布装置で、屋根パネルに孔をあけ、ガレキ上面及び屋根パネル裏面に飛散防止剤を散布。

作業時間 ( 6:00 ~ 15:00 ) において、オペレーティングフロアダスト濃度を監視しながら、以下の手順を繰り返し、北1屋根パネルの8孔分の飛散防止剤散布を実施。

### 飛散防止剤散布手順

#### [作業手順1]

飛散防止剤散布装置タンクへ水及び飛散防止剤 ( 原液 ) を投入し混合

#### [作業手順2]

地上にて飛散防止剤散布の作動確認

#### [作業手順3]

大型クレーンによる飛散防止剤散布装置吊上げ

#### [作業手順4]

飛散防止剤散布装置を大型クレーンにて所定の屋根パネル貫通箇所まで誘導し、屋根パネルへ孔をあけ飛散防止剤散布

#### [作業手順5]

大型クレーンによる飛散防止剤散布装置吊下し

## 屋根パネル貫通



# 1号カバー解体について(3/4)

- 3号機の作業でダストが飛散した状況をふまえ、オペフロ上および原子炉建屋近傍での放射性物質濃度の監視体制を強化しています。
- モニタリングポスト(1)もしくはダストモニタ(2)で警報が発生した場合は、直ちに作業を中断し、全面マスクの着用や飛散防止剤の散布などの対応を行うとともに、自治体への通報連絡やマスコミへの公表を行います。

## 敷地内の監視体制

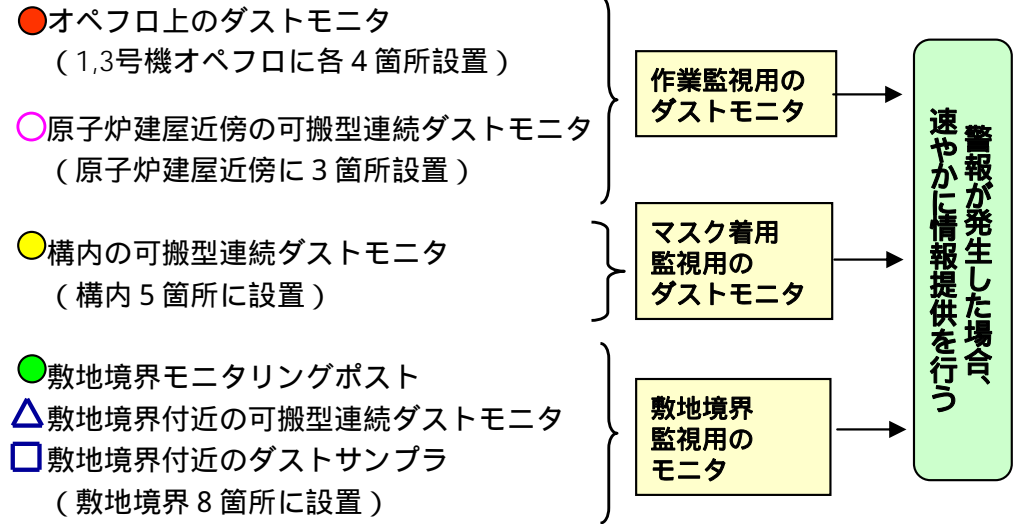


- 敷地内の監視体制は、昨年の3号機でのダスト飛散以降強化しています。

敷地内監視体制	3号機 事象発生前	3号機 対策後	1号機 (今回)
オペフロ上 ダストモニタ	なし	3箇所	8箇所 (1,3号機合計)
建屋近傍 ダストモニタ	なし	1箇所	3箇所
構内(マスク着用監視用) ダストモニタ	4箇所	4箇所	5箇所 (全面マスク不要エリア拡大に伴い)
敷地境界付近 モニタリングポスト	8箇所	8箇所	8箇所
敷地境界付近 ダストモニタ(一部ダストサンプラ)	なし	なし	8箇所

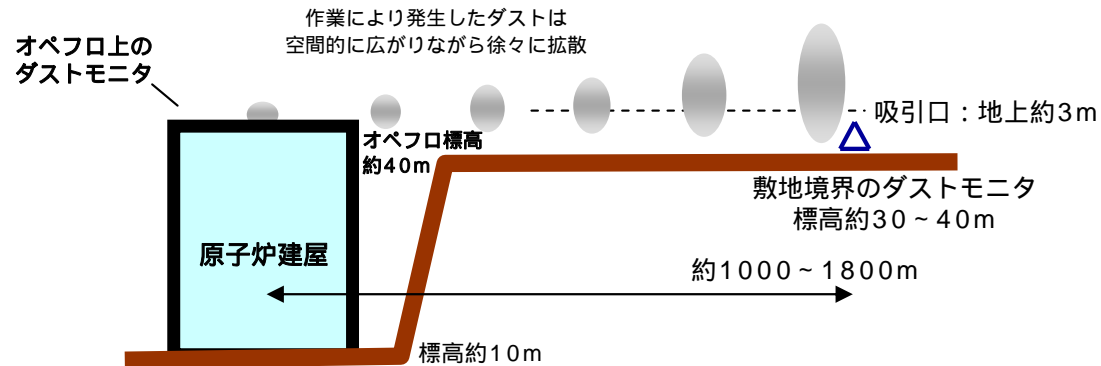
建屋カバー解体に伴う、測定点の移設・追設期間を除く

- 各ダストモニタ、モニタリングポストの監視体制の位置づけを示します。



## 敷地境界付近の連続ダストモニタによる監視について

- オペフロの高さは標高約40mであり、一方、敷地境界の標高は20~40mあるため、万一、ダストがオペフロ上から飛散した場合、敷地境界でダストの検知は可能と考えています。
- また、原子炉内の温度は約40℃であるため、吹き上げ高さは小さいと考えています。



### 1: モニタリングポスト

空間中の放射線(Sv/h)を監視する装置。

### 2: ダストモニタ

空気中の放射性物質濃度(Bq/cm<sup>3</sup>)を測定する装置。周囲の空気を吸入口から連続的に採取し、放射性物質をフィルタ上に捕集して測定する。

# 1号カバー解体について(4/4)

■ 解体作業の概要・リスク・対策等について、自治体、地域・一般の皆さま、報道関係者に対して事前にきめ細かくお知らせすると共に、実施した結果を速やかにご報告してまいります。

## お知らせする内容・手段

対象	自治体	地域・一般の皆様	報道関係者
情報の種類	通報連絡 / 個別の連絡	当社ホームページ	一斉メール / 記者会見
作業の全体概要	各自治体へ個別に説明	作業概要解説 飛散抑制対策 放射性物質濃度監視体制	記者レク、会見で説明
日々の作業状況	<放射性物質の舞い上がりの可能性がある作業> 前日、事前通報 当日、作業実績通報 翌週作業予定 作業日報 など	作業日報 当日の作業実績 翌日の作業予定 モニタリングの測定結果 翌週作業予定 1号作業映像 (ライブカメラ配信)	作業日報を記者レク、 会見で説明 翌週作業予定
トラブル発生状況	通報区分に則り、 通報連絡	一斉メールの内容を掲載 資料掲載 ラジオや広報車等でお知らせ	一斉メールで状況を継続的に発信 記者レク、会見で説明

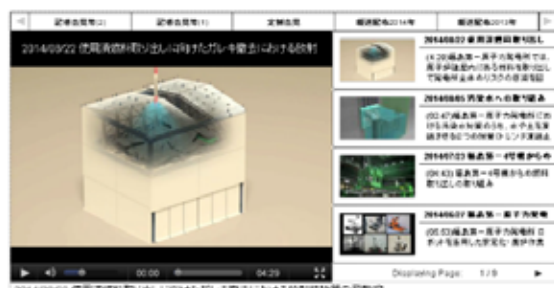
## 作業の全体概要のお知らせ

■ 建屋カバー解体作業に関して、当社ホームページに特設ページを設置し、動画等も使いながら作業概要をわかりやすくご説明しています

### 【特設ページ】



### 【解説動画】



## 日々の作業状況のお知らせ

■ 建屋カバー解体作業に関する情報を「作業日報」としてまとめ、作業当日の夕方にホームページに掲載すると共に、記者会見等で説明を実施

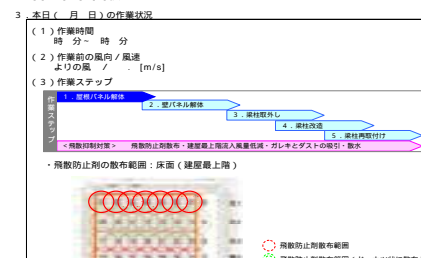
<日報に記載する主な情報>

- ✓ モニタリングポストおよびダストモニタの測定状況
- ✓ 当日の具体的な作業内容
- ✓ 翌日の作業予定

■ 毎週金曜日の夕方に、翌週1週間の作業予定をホームページに掲載

■ 1号機建屋カバー外観の映像(ライブカメラ)を、ホームページでリアルタイムに配信

### 【作業日報のイメージ】



### 【ライブカメラ映像】



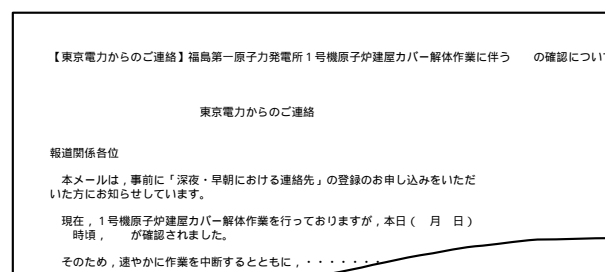
## トラブル発生時のお知らせ

■ 放射性物質の飛散等のトラブルが発生した場合、速やかに自治体へ通報連絡するとともに、報道関係者向けにメールを発信し、報道を通じて一般の皆様にお知らせ

■ 一般の皆様には、自治体・報道を通じた情報のほか、ラジオや広報車を活用して当社からも、直接お知らせ

■ 敷地外への影響の可能性のある場合は、臨時記者会見でご説明(ホームページで視聴可能)

### 【報道関係者向けメール】



### 【記者会見】

